



# プライムケーブル プロビジョニングのライセンスキー

このリリースにアクセスするには、Cisco プライムケーブル プロビジョニング 6.0 の新しいライセンスを取得する必要があります。プライムケーブル プロビジョニングのライセンス変更とライセンスファイルの取得方法については、[Cisco プライムケーブル プロビジョニング 6.1.1 クイックスタートガイド](#) を参照してください。

プライムケーブル プロビジョニング Admin UI は、使用可能なライセンスと使用されているライセンスを示します。使用可能なライセンスと使用されているライセンス数は、API クライアントからも確認できます。



## 注意

ライセンスファイルを編集しないでください。データに変更を加えると、ライセンスファイルが無効になります。



## (注)

次のプライムケーブル プロビジョニングのコンポーネントには、別個のライセンスが必要です。

- DPE
- セキュリティで保護された音声テクノロジーをサポートするネットワークを設定する場合、KDC

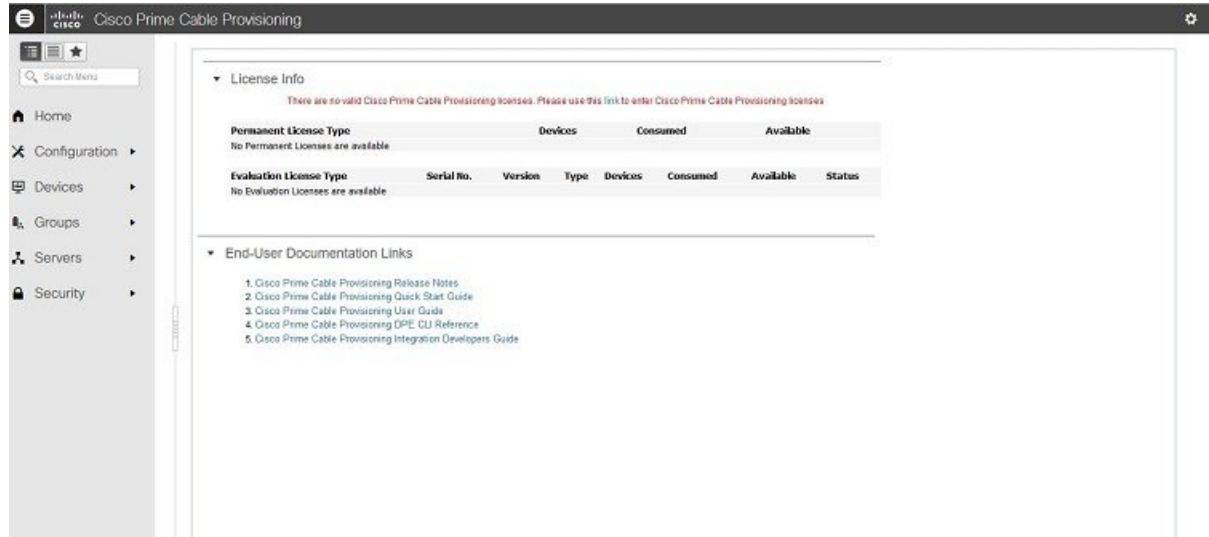
Admin UI から DPE ライセンスをインストールする一方、以前のプライムケーブル プロビジョニング リリースでは引き続き別個のライセンスであり、プライムケーブル プロビジョニングのインストール中にライセンス取得されます。

プライムケーブル プロビジョニングにより、同時に永続的および評価ライセンスをインストールできます。さらに、1 個以上のライセンスをインストールすることも可能です。これにより、永続的ライセンスを購入するまでにライセンスが不足する場合、デバイス制限を増やすことができます。

## ■ ライセンスの追加

次の図ではサンプルの [Manage License Keys] ページを示しており、実装のため入力されたサービス ライセンスのリストを示します。

図 1:[Manage License Keys] ページ



- ライセンスの追加 (2 ページ)
- ライセンスの削除 (3 ページ)

## ライセンスの追加

Cisco プライム ケーブル プロビジョニング 6.1.1 クイック スタート ガイド の説明に従い、新しいライセンス ファイルを取得します。。ライセンス ファイルを受信した後、プライム ケーブル プロビジョニング Admin UI を起動するシステムに各ファイルを保存します。

永続的または評価ライセンスを追加するには：

**ステップ1** Admin UI から [Configuration] > [License Keys] を選択します。

(注) RDU にライセンスが追加されなかった場合、いつでもホームページにライセンス リンクが表示されます。

**ステップ2** [Choose File] をクリックし、ローカルシステム上の永続的または評価ライセンス ファイルの場所を参照します。

**ステップ3** [Add] をクリックします。

ライセンスが使用される DPE のサービスの詳細とともに、[Manage License Keys] ページが表示されます。

(注) ライセンスが追加されたか確認するには、*audit.log* でアクションが記録されているかどうかを確認します。*Audit.log* ファイルは BPR\_DATA/rdu/logs/audit.log でも使用できます。

# ライセンスの削除

[Manage License Keys] ページで表示されるライセンス（評価または永続的）を削除するように選択できます。



(注)

そうすることにより、システムのライセンス取得済み容量がシステムでプロビジョニングされたデバイス数を下回る場合でも、ライセンスを削除することができません。

ライセンスを削除するには、次の手順を実行します。

**ステップ1** Admin UI から [Configuration] > [License Keys] を選択します。

**ステップ2** 削除する永続的または評価ライセンスに対応する [Delete] ボタンをクリックします。

**ステップ3** ライセンスの削除を確認するには、[Yes] をクリックします。

複数のキーが含まれているライセンスを削除すると、永続的なライセンスのリストが表示されます。削除するライセンスに対応する [Delete] ボタンをクリックします。

ライセンスキーは、[Manage License Keys] ページから表示されなくなります。

(注) ライセンスが削除されたか確認するには、audit.log でアクションが記録されているかどうかを確認します。Audit.log ファイルは BPR\_DATA/rdu/logs/audit.log でも使用できます。

## ■ ライセンスの削除